



2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月6日

上場会社名 文化シャッター株式会社

上場取引所 東

コード番号 5930 URL <https://www.bunka-s.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 博之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 西村 浩一

TEL 03-5844-7200

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	164,462	2.8	8,176	0.0	9,626	13.5	6,200	3.9
2025年3月期第3四半期	159,943	3.7	8,174	1.8	8,484	6.4	5,967	6.6

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 5,557百万円 (0.9%) 2025年3月期第3四半期 5,605百万円 (25.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	87.76	
2025年3月期第3四半期	83.88	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	206,213	111,392	53.9
2025年3月期	204,982	113,450	55.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 111,233百万円 2025年3月期 113,287百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		32.00		42.00	74.00
2026年3月期		37.00			
2026年3月期(予想)				37.00	74.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	5.1	16,800	14.1	16,500	11.7	11,500	12.6	163.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 社 (社名) 、 除外 4 社 (社名) BX鐵矢株式会社 他3社

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	72,196,487 株	2025年3月期	72,196,487 株
期末自己株式数	2026年3月期3Q	1,857,759 株	2025年3月期	1,041,344 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	70,655,459 株	2025年3月期3Q	71,143,860 株

(注)期末自己株式数には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めて記載しております。また、期中平均株式数(四半期累計)の算定に当たり、その計算において控除する自己株式に役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益を背景とした賃上げ等による雇用・所得環境の改善や設備投資の拡大等により、景気は緩やかな回復基調が続いております。

一方で、エネルギー価格や原材料価格の高騰、人手不足による労働力不足、国際情勢の不安定化など先行きの見通せない状況で推移しております。

当社グループを取り巻く建設・住宅業界におきましても、民間設備投資が堅調に推移しており、建設需要は底堅さを維持しているものの、建設コストの高騰などにより新設住宅着工戸数は弱含みの動きが続くなど、依然として不透明な状況が続いております。

そのような状況の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は、164,462百万円（前年同四半期比2.8%増）となり、利益面におきましても、売上高の増加やコスト削減など当社グループの全部門において利益の確保に全力で取り組みました結果、営業利益は8,176百万円（前年同四半期比0.0%増）、経常利益は9,626百万円（前年同四半期比13.5%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても6,200百万円（前年同四半期比3.9%増）となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

なお、当中間連結会計期間より、「サービス事業」の報告セグメントに含めていた「遮熱事業」については、管理区分の見直しを行ったため、「その他」にセグメントを変更しております。前第3四半期連結累計期間との比較・分析にあたっては、変更後の報告セグメントの金額を用いております。

1. シャッター関連製品事業

国内の工場・倉庫向けのシートシャッター等が堅調に推移した一方で、オーストラリア及びニュージーランドにおいては、建設需要の停滞等の影響によって、連結子会社BX BUNKA AUSTRALIA PTY LTD及び連結子会社BX BUNKA NEW ZEALAND LIMITED等の業績が低調に推移したことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は66,282百万円（前年同四半期比1.1%減）となり、営業利益は6,025百万円（前年同四半期比4.0%減）となりました。

2. 建材関連製品事業

工場・倉庫及びオフィスビル向けのスチールドア等が堅調に推移しました結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は64,037百万円（前年同四半期比4.8%増）となり、営業利益は1,355百万円（前年同四半期比16.5%増）となりました。

3. サービス事業

緊急修理対応や定期保守メンテナンス等が堅調に推移しました結果、連結子会社文化シャッターサービス株式会社を中心に、当第3四半期連結累計期間の売上高は23,220百万円（前年同四半期比5.5%増）となり、営業利益は4,046百万円（前年同四半期比2.8%増）となりました。

4. リフォーム事業

ビルの改修等を手掛けるリニューアル事業及び住宅用リフォーム事業に注力しており、連結子会社B Xゆとりフォーム株式会社を中心に、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,917百万円（前年同四半期比3.0%増）となりましたが、市場における競争激化の影響によって、住宅用リフォーム事業が低調に推移しました結果、営業損失は42百万円（前年同四半期は営業損失16百万円）となりました。

5. その他

社会問題化しているゲリラ豪雨等に対する浸水防止用設備を手掛ける止水事業及び気候変動による地球温暖化に伴う夏場の暑熱対策として屋内用遮熱シート等を手掛ける遮熱事業に注力しており、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,004百万円（前年同四半期比19.6%増）となり、営業利益は846百万円（前年同四半期比8.0%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は206,213百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,230百万円増加しました。流動資産は119,082百万円となり、1,738百万円増加しました。これは、受取手形、売掛金及び契約資産が減少(8,516百万円)した一方で、商品及び製品が増加(6,335百万円)、流動資産のその他が増加(2,421百万円)、電子記録債権が増加(689百万円)、現金及び預金が増加(657百万円)したことが主な要因であります。固定資産は87,130百万円となり、507百万円減少しました。これは、投資有価証券が増加(1,889百万円)した一方で、無形固定資産のその他が減少(973百万円)、のれんが減少(961百万円)、投資その他の資産のその他が減少(483百万円)したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は94,820百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,288百万円増加しました。流動負債は58,470百万円となり、2,915百万円増加しました。これは、賞与引当金が減少(2,452百万円)、未払法人税等が減少(2,408百万円)した一方で、流動負債のその他が増加(3,803百万円)、電子記録債務が増加(1,463百万円)、支払手形及び買掛金が増加(1,142百万円)、短期借入金が増加(1,068百万円)したことが主な要因であります。固定負債は36,350百万円となり、372百万円増加しました。これは、長期借入金が増加(640百万円)した一方で、退職給付に係る負債が増加(635百万円)、固定負債のその他が増加(356百万円)したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は111,392百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,057百万円減少しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上(6,200百万円)により増加、その他有価証券評価差額金が増加(1,500百万円)した一方で、配当金の支払いにより減少(5,614百万円)、自己株式の取得等により減少(2,000百万円)、為替換算調整勘定が減少(1,957百万円)したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月14日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,109	40,767
受取手形、売掛金及び契約資産	45,543	37,027
電子記録債権	9,375	10,065
商品及び製品	9,921	16,257
仕掛品	1,281	1,385
原材料及び貯蔵品	8,451	8,548
その他	3,041	5,462
貸倒引当金	△380	△430
流動資産合計	117,344	119,082
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,774	13,773
土地	13,506	13,477
その他(純額)	14,251	14,292
有形固定資産合計	41,532	41,543
無形固定資産		
のれん	10,329	9,367
その他	7,298	6,324
無形固定資産合計	17,627	15,692
投資その他の資産		
投資有価証券	19,269	21,158
退職給付に係る資産	1,598	1,599
その他	7,866	7,383
貸倒引当金	△256	△246
投資その他の資産合計	28,478	29,894
固定資産合計	87,638	87,130
資産合計	204,982	206,213

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,704	12,846
電子記録債務	15,893	17,356
短期借入金	1,212	2,280
1年内返済予定の長期借入金	869	855
未払法人税等	3,585	1,177
賞与引当金	5,248	2,795
役員賞与引当金	144	95
工事損失引当金	603	965
その他	16,294	20,098
流動負債合計	55,554	58,470
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	2,440	1,800
役員退職慰労引当金	256	256
役員株式給付引当金	74	93
退職給付に係る負債	15,409	16,044
資産除去債務	67	68
その他	7,730	8,086
固定負債合計	35,977	36,350
負債合計	91,532	94,820
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,051	15,051
資本剰余金	11,292	11,292
利益剰余金	78,919	79,505
自己株式	△1,079	△3,079
株主資本合計	104,183	102,769
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,179	5,680
繰延ヘッジ損益	0	8
土地再評価差額金	△45	△46
為替換算調整勘定	2,030	72
退職給付に係る調整累計額	2,939	2,749
その他の包括利益累計額合計	9,104	8,464
非支配株主持分	162	158
純資産合計	113,450	111,392
負債純資産合計	204,982	206,213

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	159,943	164,462
売上原価	116,302	119,463
売上総利益	43,641	44,998
販売費及び一般管理費	35,466	36,821
営業利益	8,174	8,176
営業外収益		
受取利息	60	73
受取配当金	346	340
受取賃貸料	60	57
持分法による投資利益	—	233
為替差益	—	1,057
その他	360	272
営業外収益合計	827	2,034
営業外費用		
支払利息	369	423
持分法による投資損失	35	—
その他	113	161
営業外費用合計	517	585
経常利益	8,484	9,626
特別利益		
固定資産売却益	13	157
投資有価証券売却益	1,196	82
特別利益合計	1,210	239
特別損失		
固定資産売却損	16	9
固定資産除却損	74	120
特別損失合計	91	129
税金等調整前四半期純利益	9,603	9,736
法人税等	3,629	3,538
四半期純利益	5,974	6,197
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	6	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,967	6,200

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	5,974	6,197
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△554	1,394
為替換算調整勘定	330	△1,569
退職給付に係る調整額	△148	△185
持分法適用会社に対する持分相当額	3	△279
その他の包括利益合計	△368	△640
四半期包括利益	5,605	5,557
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,599	5,560
非支配株主に係る四半期包括利益	6	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であったB X 鐵矢株式会社及びB X 東北鐵矢株式会社は、同じく当社の連結子会社であるB X ティアール株式会社を吸収合併存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であったB X ケンセイ株式会社及びB X 文化パネル株式会社は、同じく当社の連結子会社であるB X ルーテス株式会社を吸収合併存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	シャッター 関連製品 事業	建材関連 製品事業	サービス 事業	リフォーム 事業	計				
売上高									
顧客との契約から生じる収益	67,001	61,132	22,012	4,776	154,923	5,020	159,943	—	159,943
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	67,001	61,132	22,012	4,776	154,923	5,020	159,943	—	159,943
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,012	25	360	13	4,411	721	5,133	△5,133	—
計	71,014	61,158	22,372	4,789	159,335	5,741	165,077	△5,133	159,943
セグメント利益又は損失(△)	6,274	1,163	3,937	△16	11,358	783	12,142	△3,968	8,174

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、止水事業、遮熱事業、太陽光発電システム事業、不動産賃貸事業、保険代理店事業、建築設計事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,968百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,967百万円、棚卸資産の調整額△0百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2025年4月1日 至2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	シヤッター 関連製品 事業	建材関連 製品事業	サービス 事業	リフォーム 事業	計				
売上高									
顧客との契約から生じる収益	66,282	64,037	23,220	4,917	158,457	6,004	164,462	—	164,462
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	66,282	64,037	23,220	4,917	158,457	6,004	164,462	—	164,462
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,294	26	361	4	4,687	823	5,511	△5,511	—
計	70,576	64,063	23,581	4,922	163,144	6,828	169,973	△5,511	164,462
セグメント利益又は損失(△)	6,025	1,355	4,046	△42	11,385	846	12,231	△4,055	8,176

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、止水事業、遮熱事業、太陽光発電システム事業、不動産賃貸事業、保険代理店事業、建築設計事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,055百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,052百万円、棚卸資産の調整額△2百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より、「サービス事業」の報告セグメントに含めていた「遮熱事業」については、管理区分の見直しを行ったため、「その他」にセグメントを変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントにより記載しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式816,200株の取得を行いました。この取得等により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が2,000百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が3,079百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	3,937百万円	4,023百万円
のれんの償却額	814	768